

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	保育実習指導Ⅰ						授業形態		講義	
科目コード	750130	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	早川 純子								ICT活用	
授業概要	【保育所実習】 本授業の目的は、「保育実習（保育所）」に向けて、実習の意義・目的・内容について理解をすることと、実習後に保育者としての課題を明らかにし、今後の実習に向けて新たな学習課題を設定することです。保育所実習に臨むためには、保育所実習の方法・心構え・守秘義務・記録の意義と方法・保育計画及び指導計画を理解し、子どもとのかかわりを考える必要があります。そのために授業では、実習日誌の書き方、指導案の作成、模擬保育の実施を通して、保育所実習の課題を明確にしていきます。また、実習後には、実習内容を振り返り、学びや課題を報告し、今後の実習に向けて新たな課題を設定していきます。 【施設実習】 本授業の目的は、児童福祉施設（保育所を除く）における各実習の意義と目的を理解し、保育について総合的な視点から学びを深めることです。実習に臨むにあたっては、実習の進め方や基本的な心構え、守秘義務、記録の重要性およびその方法、さらに保育計画や指導計画について理解を深めます。具体的には、実習日誌の作成方法や指導案の立案などを通して、実習における自己の課題を明確にしていきます。									
関連する科目	「保育内容総論」「社会福祉」「社会的養護Ⅰ」「子ども家庭福祉」を事前に受講しておくことが望ましい。履修後は、「保育実習指導Ⅱ/Ⅲ」および「保育実習Ⅱ/Ⅲ」を履修すること。									
授業の進め方 と方法	【保育所実習】毎回の授業にて、演習形式の授業を展開します。授業の前半では、授業計画に沿った内容の講義を行います。後半では、各自が取り組んだ予習内容を基に、グループワークにて内容を深く考察していきます。 【施設実習】実習の進め方や基本的な心構え、守秘義務、記録の重要性およびその方法、さらに保育計画や指導計画について、実習日誌の作成方法や指導案の立案などを行います。									
授業計画 【第1回】	【保育所実習】 1. 保育所実習の意義及び目的について 保育所実習の意義と目的、保育実習の内容について理解します。									
授業計画 【第2回】	2. 保育実習日誌の必要性、記述の方法、保育計画について 記録をする必要性と記録の方法、保育計画の作成方法について学びます。									
授業計画 【第3回】	3. 保育指導案の作成 模擬保育実施に向けた保育指導案を作成します。									
授業計画 【第4回】	4. 模擬保育の実践 作成した指導案を基に模擬保育を実践します。									
授業計画 【第5回】	5. 保育指導案の考察 模擬保育を実践し、省察を踏まえた新たな指導案を作成します。									
授業計画 【第6回】	6. 実習中の心得 実習中の心得について理解し、注意事項などを確認します。									
授業計画 【第7回】	7. 実習課題の設定 保育所実習で身に付けるべき課題を明らかにします。									
授業計画 【第8回】	8. 事後指導、実習報告会 実習を通して見えてきた自らの課題を明らかにし、実習報告会を行います。									
授業計画 【第9回】										
授業計画 【第10回】										

授業計画 【第11回】	
授業計画 【第12回】	
授業計画 【第13回】	
授業計画 【第14回】	
授業計画 【第15回】	
授業の到達目標	【保育所実習】 1. 保育実習に参加する際の心構えほか、保育計画・援助計画等の作成方法を習得する 2. 模擬保育を実施し、遊びを通した総合的な指導について理解する 【施設実習】 1. 保育実習ⅠB（施設）の意義・目的、及び実習の内容と具体的事項を理解する。【姿勢・志向性の育成】 2. 社会的養護における子どもの支援と保育者としての専門性を理解する。【職業知識・技能の育成】 3. 子ども理解、実践の展開・評価・改善の一連のプロセスの理解を深める。【自己管理能力・生涯学習力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	〈予習〉 【保育所実習】乳幼児の発達に関すること、乳幼児の遊びに関することを各自で収集し、指導案作成に生かすことを予習とします。 【施設実習】施設実習に関する文献、先輩の実習日誌等を参考に各施設の機能・実習生に求められる役割・基本視点等について60分程度の予習をする。
授業時間外学習【復習】	〈復習〉 【保育所実習】授業後は、授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集をすることを復習とします。 【施設実習】施設実習に関する文献、先輩の実習日誌等を参考に各施設の機能・実習生に求められる役割・基本視点等について60分程度の復習をする。
課題に対する フィードバック	【保育所実習】 レポートは評価後に返却します。 【施設実習】 レポート、最終試験は評価後、返却及び解説をします。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 【保育所50点】1) 学習意欲20点/2) 実習報告会への取り組み意欲20点/3) レポート10点 【施設50点】1) 学習意欲35点/2) レポート10点/3) ワークショップ等5点
テキスト	「保育実習の手引き」（南九州大学） その他、適宜資料を配布します。
参考書	1. 保育実習日誌 2. 保育実習の手引き 3. 保育所保育指針解説書 4. 実習日誌・指導計画案の書き方等配布資料 5. 『施設実習ガイド 保育者として成長するための事前事後学習』（2,000+税） 駒井美智子他 萌文書林 2014
備考	熊本市要保護児童対策地域連絡協議会委員（若宮邦彦） 保育実習ⅠB(施設)参加条件は履修の手引きに記載のように「社会福祉」「社会的養護Ⅰ」履修者とする。